

No.	606	<h1>プラ板</h1>			
概要	プラスチックの特性を活かし、加工(模様や文字を描き、焼く)してオリジナル作品を作る。				
内容	人数(人)	~40人	時間	2時間	
	対象	幼児以上	時期	通年	
	場所	創作室【第1・第2】			
	指導形態	自主活動・事前の説明のみ・直接指導			
安全管理	引率者と担当職員による観察・指導				
ねらい	<input type="checkbox"/> プラスチックを加熱すると縮む特性を楽しむ。 <input type="checkbox"/> 互いの作品の工夫や表現を共有する。				
準備	施設から貸出	<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆、消しゴム、色鉛筆、マジックペン(油性) はさみ 穴あけパンチ 軍手 オーブントースター 延長コード ピンセット 押さえ板 ラジオペンチ 資料(サイズ見本、下絵) 			
	団体で準備	<ul style="list-style-type: none"> * いずれかを選んで、事前に「教材等申込書」で注文。 <input type="checkbox"/> シュリンクシート(白/透明) <input type="checkbox"/> 金具(キーホルダー/ブローチ) * 必要に応じて、書き写したい下絵準備。 			
	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな作品を制作するのか、事前に考えておくと時間短縮できる。 ・シュリンクシートは切り分けて使用できる。余った端材で、追加して作ることもできる。ただし、金具の当日追加はできない。(事前注文のみ) 			

	内 容	留意事項
活動前	<input type="checkbox"/> 担当職員との打ち合わせ ・活動のねらいの共有 ・参加人数、グループ編成 ・安全管理 等 <input type="checkbox"/> 注文した教材の受け取り ・種類と個数を確認し、研修場所に持って行く。	<input type="checkbox"/> 安全管理 ・引率者と担当職員が一緒に行く。 ・火傷等への配慮をする。 <input type="checkbox"/> 教材 ・返品可能(特別なものを除く)。
活動の説明	<input type="checkbox"/> 職員による説明 ・めあて、安全上の注意 等 ・制作の手順、技法 ・道具や画材の取り扱い方、注意事項 <input type="checkbox"/> 道具の準備	<input type="checkbox"/> 安全上の注意 <オーブントースター> ・作品の出し入れは、大人が行う。 ・軍手を着用する。 ・作品はよく冷ましてから、触る。
展 開	<input type="checkbox"/> 制作 1) 下絵を描いて、輪郭を切りとる。 ・シュリンクシートに下絵を描き、色を塗る。 ・絵に沿って切り抜く。 ・キーホルダーは、金具を取り付けるための穴も開ける。 2) 焼成する。 ・オーブントースターで加熱し、縮みが止まったら取り出す。 ・熱くて柔らかいうちに押さえ板で挟んでしっかりと押さえる。 3) 金具を取り付ける。 <input type="checkbox"/> 片づけ、掃除 ・道具の返却、整頓 ・机、床、流し周辺の掃除 <input type="checkbox"/> ふり返り ・作品鑑賞 ・感想 <input type="checkbox"/> 研修室の点検、退室 ・椅子を机の上に並べる。	<input type="checkbox"/> 制作のポイント <シュリンクシート> ・加熱すると約1/6に縮む。 ・透明は、溶けやすく伸びやすい。 ・白は、加熱時に丸まりにくい。 <下絵、キーホルダーの穴> 出来上がりのサイズを考えて、 ・絵は大きめに描く。 ・穴も焼く前に大きめに開ける。 <着色> ・焼いて縮むと、少し濃いめの色になるので、マジックで塗るより色鉛筆の方が明るい発色に仕上がる。